

シンポジウム

◆基調講演:知的財産人材を巡る課題を考えてみる◆

【講演者】

三木 俊克 (INPIT:独立行政法人工業所有権情報・研修館 理事長)

【略歴】

1975年 山口大学大学院工学研究科(修士課程)修了、
その後、工学博士(名古屋大学)、オクラホマ州立大学物理学科研究員、山口大学
教授、地域共同研究開発センター長、山口ティール・エル・オー取締役、ビジネスイ
ンキュベーション施設長、工学部長・大学院理工学研究科長、山口大学副学長(学
術研究担当)等を経て、
2011年10月より現職

【講演要旨】

狩猟社会、農耕社会、工業化社会、情報化社会に続く“超スマート社会”への進化の過程においては、従来の産業構造や個々の事業活動も不変ではあり得ず、これまでの枠内で知的資源の創出・保護・活用に関わってきた高度人材にも、“継続すべきこと”だけでなく、“変わるべきこと”、“新たにコネクすべきこと”などを考え対応することが求められるに違いない。さらに、人材あるいは人材チームが新たな機能を効果的に果たすには既存組織の一部形態も変化していくこともあるだろう。起こりつつある産業のダイナミックな変化を踏まえつつ、様々な階層の人材と人材チームの課題を考えてみたい。

以上